

<h1>SDT</h1>	<h2>制振工学研究会通信</h2> <p>SOCIETY OF DAMPING TECHNOLOGY NEWS</p> <p>2015年 5月号</p>	<p>2015年 5月 1日発行          編集 集：会報編集委員会          編集責任者：小白井 敏明          担当者：立石 覚          URL <a href="http://www.sdt-jp.com">http://www.sdt-jp.com</a>          E-Mail: <a href="mailto:info@sdt-jp.com">info@sdt-jp.com</a></p>
--------------	---	---

### ◇お知らせ

・本通信により会員各位に有用な情報を提供すべく毎月の編集会議では頭を悩まして議論しております。つきましては、ここで取り上げてほしい事がございましたらそのご要望を次のアドレスまで是非お寄せください。

E-MAIL: [yamagu@pc.highway.ne.jp](mailto:yamagu@pc.highway.ne.jp)

### ◇研究会の行事案内

開催日時	開催地・会場	名 称	内 容
15. 05. 14	日本合成樹脂技術協会会議室	建築への制振材料適用に関する技術講習会	<a href="#">技術講習会のご案内</a> 参照

### ◇分科会・WG・委員会の予定

開催日時	開催地・会場	名 称
15. 05. 15 13:00～17:00	スペクトリス(株)会議室 C&D	計測・評価技術分科会、音響管計測WG-II
15. 05. 22 15:00～17:00	リオン(株)会議室	会報編集委員会
15. 05. 28 13:00～17:00	スペクトリス(株)会議室 C&D	計測・評価技術分科会、粘弾性特性比較検討WG
15. 06. 05 15:00～17:00	日東紡音響エンジニアリング(株) 第2音響研究所	材料技術分科会

### ◇会員消息 (2015年 5月 1日現在)

○会員数		○入退会者
法人会員	25 社	—
個人会員	52 人	—
学生会員	2 人	—

### ◇関連学協会等の行事案内

開催日	開催地・会場	名 称	主催団体及び内容
05. 20-22	パシフィコ横浜 (横浜市西区)	2015年春季大会	自動車技術会 <a href="http://www.jsae.or.jp/2015haru/index.php">http://www.jsae.or.jp/2015haru/index.php</a>
05. 20-22	パシフィコ横浜 (横浜市西区)	自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展 2015	自動車技術会 <a href="http://expo.jsae.or.jp/">http://expo.jsae.or.jp/</a>
05. 21-22	京都工芸繊維大学 (京都市左京区)	2015年年次大会	日本ゴム協会 <a href="http://www.sri.j.or.jp/newsite/pdf/event_15021601.pdf">http://www.sri.j.or.jp/newsite/pdf/event_15021601.pdf</a>
05. 25-26	日本機械学会会議室 (東京都新宿区)	講習会 振動モード解析入門-実習付き-	日本機械学会 <a href="http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=3631">http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=3631</a>
05. 26-27	大阪科学技術センター 8F (大阪市西区)	関西支部第337回講習会 構造強度設計における数値シミュレーションの基礎と応用	日本機械学会 <a href="http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=3633">http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=3633</a>
05. 27	ローレル三田会議室 (東京都港区)	防音の勉強会 防音対策の基礎	日本音響材料協会 <a href="http://www.onzai.or.jp/">http://www.onzai.or.jp/</a>
05. 27-28	札幌コンベンションセンター (札幌市白石区)	第64回高分子学会年次大会	高分子学会 <a href="http://main.sps.j.or.jp/nenkai.html">http://main.sps.j.or.jp/nenkai.html</a>

### ◇技術情報

#### ➤ 三菱電機、走行時の振動半減する超高速エレベーター向けガイド装置開発

三菱電機は分速 1000メートルを超える超高速エレベーター向けに、走行時の振動を従来比半分以下に抑えるガイド(先導)装置を開発した。搭載する加速度センサーの数を増やし、エレベーターの高速化に伴って増大する「横揺れ」を永久磁石を使ったリアモーターで効果的に打ち消す。

詳細：<http://www.nikkan.co.jp/news/nkx0720150216eaaad.html>

(2015年02月16日、日刊工業新聞 BusinessLine より)

技術紹介：<http://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/randd/spotlight/spotlight22.html>

(次ページに続く)

- **産総研、CNT混ぜゴム耐熱温度100度C上昇に成功ーフッ素ゴムで300度Cを確認**  
 産業技術総合研究所ナノチューブ応用研究センター CNT 用途開発チームの阿多誠介研究員らは、単層カーボンナノチューブ（CNT）を混ぜることでゴムの耐熱温度を約100度C上昇させることに成功した。ゴムの高分子鎖を切断するラジカルをCNTが捕捉する。  
 詳細：<http://www.nikkan.co.jp/news/nkx0720150324eaad.html>  
 (2015年03月24日、日刊工業新聞 BusinessLine より)
- **ローランドと大建工業、初のコラボレーションがスタート**  
 第一弾は自宅で演奏したいドラム愛好家の音や振動の悩みを解消する電子楽器用の「防振ベース」をローランドより発売  
 詳細：<http://www.roland.co.jp/news/0651/>

## ◇技術講習会のご案内

### 【建築への制振材料適用に関する技術講習会(入門編)】

開催日時：2015年5月14日(木) 13:00～17:00

会場：(一社)日本合成樹脂技術協会5階会議室

内容：大学や建設会社、音響コンサルタント会社で直接、音・振動制御に関わっている講師をお迎えし、主に制振工学に従事した経験の浅い方々を対象に、建築への制振材料の適用に関する基礎から応用まで、予測技術についての事例を含めた講習を行います。また、講習内容の理解のために、簡単な演習も用意します。最後に、講師の方々の十分な質疑応答の場を設けます。質疑応答では、日頃疑問に思っていることも気軽に質問してください。演習は講義に関連した内容で特に事前の準備は必要ありません。

修了証書：参加者には講義終了後に制振工学研究会講習会修了証書を発行いたします。

定員：20名、申込先着順により満員になり次第、締め切ります。

(参加者が少ない場合、中止することがあります。あらかじめご了承ください。)

受講料：会員 15,000円、学生会員 無料

会員外 25,000円、会員外(学生) 5,000円

主催：制振工学研究会

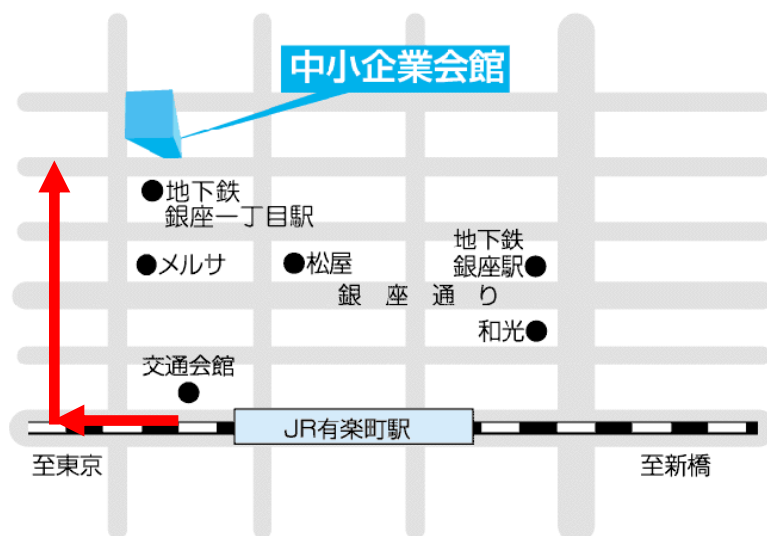
申込先：(一社)日本合成樹脂技術協会内 制振工学研究会

〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18 5F.

電話 03-3542-0261、FAX 03-3543-0619、E-mail [info@sdt-jp.com](mailto:info@sdt-jp.com)

会場案内：(一社)日本合成樹脂技術協会は、下記「中小企業会館」の5階になります。

JR有楽町駅方面から来ますと、「中小企業会館」という大きな看板が出ています。



地下鉄有楽町線銀座一丁目駅

徒歩1分(11出口)

地下鉄銀座線銀座駅

徒歩7分(A13出口)

JR有楽町駅

徒歩13分

(次ページに続く)

## プログラム

13:00～13:45 制振概論 (45分)

山口 道征(エム・ワイ・アークステク)

講義内容：有限の空間における音波の振る舞いは、ほぼ固体音の問題に帰着します。発生源が音波であろうと、機械的加振源であろうと、制御すべき対象は振動音ということになります。制振は、その制御の一手法で、材料の抵抗要素により固体音を制御しようとするものです。ここでは制振の基礎を学ぶとともに、制振材料による制御事例について説明いたします。

13:55～14:25 窓サッシの制振・遮音に関する数値解析 (30分)

山口 誉夫(群馬大学)

講義内容：粘弾性制振材料を適用した構造物の振動減衰特性、応答の数値解析法について説明します。有限要素法とモード歪みエネルギー法に着目し、基礎理論、計算精度を示します。さらに制振工学研究会の「建築(住宅)における制振材料利用技術WG」で取り扱っている研究課題「窓サッシの制振遮音特性に与える周縁の支持構造の減衰特性の影響」を例として説明いたします。

14:35～15:20 建築への制振材料の適用事例 (45分)

小林 真人(飛鳥建設)

講義内容：住宅建築物・空調衛生設備・劇場建築・事務所・鉄道高架下建築における床衝撃音対策や固体伝搬音対策としての制振材料の適用について、制振工学ハンドブックに示された事例を中心に説明いたします。

15:30～17:00 振動・騒音対策に関するワークショップ (90分)

講師全員

講義内容に関連した簡単な演習を行い、講習内容の確認をしていただきます。その結果を発表してもらい、講師の方々との具体的な討論を行います。ここでは、課題以外の日頃疑問に思っている問題も含め、質疑応答の時間をできるだけ多く持つようにいたします。なお、演習内容は講義に関連しており、特に事前の準備は必要ありません。

司会：山本耕三(東洋建設、建築(住宅)における制振材料利用技術WG 主査)

講師略歴：

山口 道征 エム・ワイ・アークステク代表。長年、ブリヂストンにて、防振材料、制振材料および吸音材料の研究開発に従事し、材料物性と音・振動制御メカニズムとの関係に造詣が深い。制振工学研究会役員でもある。

山口 誉夫 群馬大学大学院 理工学府教授。富士重工業スバル研究所にて振動騒音に関する CAE 予測技術の研究を行い、その後、2003 年から群馬大学工学部助教授、2007 年から同大学准教授、また 2010 年から同大学工学部教授として教育、研究に従事している。制振工学研究会役員でもある。

小林 真人 飛鳥建設・技術研究所・研究開発グループ・第二研究室長。長年、建設事業における音振動制御技術の開発研究に従事し、建築における制振材料の適用技術に造詣が深い。制振工学研究会役員でもある。

事務窓口	〒104-0061東京都中央区銀座 2-10-18 一般社団法人 日本合成樹脂技術協会
	Tel. 03-3542-0261 Fax. 03-3543-0619
	URL <a href="http://www.sdt-jp.com">http://www.sdt-jp.com</a> E-Mail: <a href="mailto:info@sdt-jp.com">info@sdt-jp.com</a>